

# 平成 27 年度 成人 OT 教育計画

## 1 . ケース・スタディ

### 目的

- 日々の臨床を振り返り、理論的背景など考えをまとめる。
- 難渋している症例、良かった症例などについて検討し、リハサービスの共有を図る。
- 他セラピストからの意見を教授することにより、提供できるサービスの視点を増やす。

### 頻度

- 月 1 回 第 2 月曜日

実施時間は、夕方（17:15～）から 30 分～1 時間程度にて行う。

できるだけ参加を促すが、基本的には任意での出席とする。

### 講師

- 各セラピストの輪番制

### 方法

- 勉強会係が作成したフォーマットを基にレジюмеを作成する。
- レジюмеは、発表する前週の成人 OT ミーティング時に配布する。
- 司会進行は、勉強会係が行い、活発な意見交換ができるように配慮する。

## 2 . 拡大勉強会

### 目的

- 成人 OT 全体で臨床で必要な知識を共有し、また自己研鑽を促す。
- 最新の知見を部門内で共有することにより、リハサービスの質の向上を図る。

### 頻度

- 月 1 回 第 3 月曜（6 月 7 月 9 月 10 月 11 月 1 月 2 月）
- 実施時間は、夕方（17:30～）から 1～1.5 時間程度にて行う。

### 講師および勉強会のテーマ

金星 辻	人間作業モデルについて
米田 林	Fugl-Meyer test
綾木 坂手	運動学習について
田中 松本 中井	共感について
小林 吉良 石塚	肩関節について
吉川	冷えについて
北森	認知症について

#### 方法

- 発表は、個人またはグループで行う。
- 発表内容は、研修会の伝達講習や自分で調べたいことをまとめる。  
できるだけ参加を促すが、基本的には任意での出席とする。
- 司会進行は、勉強会係が行い、活発な意見交換ができるように配慮する。
- 発表した資料は、平成 27 年度勉強会のファイルに綴じる。

### 3 . 新人ケース・スタディ

#### 目的

- 新人スタッフが症例検討の仕方を学ぶ。
- 新人スタッフの考察・介入を先輩スタッフが教育する。
- 新人スタッフが困っている症例に対して助言をもらう。

#### 講師

- 経験年数 1～3 年目の成人 OT

#### 頻度

- 新人スタッフ（経験年数 1 年目）は、年間 2 回実施する。
  - ・ 1 症例目を担当して 3 週間以内に実施する。
  - ・ 2 回目は難渋している症例などプリセプターと相談し、決定する。（11～12 月頃）
- 経験年数 2・3 年目のスタッフも同様に年間 2 回実施する
  - ・ 1 回目は 5～6 月頃 2 回目は 9～10 月頃
  - ・ 相談したい症例が出てきた時に、実施する。
- 実施時間は、夕方（17:30～）から 1～1.5 時間程度にて行う。

#### 方法

- 発表日時は、2 週間程度前の成人 OT ミーティングにて、候補日の中から決定する。できるだけ参加者の多い日に設定する。
- レジюмеは発表 1 週間前にプリセプターに提出する。  
プリセプターは、レジюмеの書き方や検討内容が絞れているかを確認し、必要に応じて修正を促す。
- 成人スタッフ全体へのレジюмеの配布は、発表 2、3 日前までに行う。
- できるだけ参加を促すが、基本的には任意での出席とする。
- 発表時には、レジюме以外に、パワーポイントや写真、映像を活用することで、より症例の全体像を明確にすることを心がける。
- 司会進行は、勉強会係が行い、活発な質疑応答ができるように配慮する。

### 4 . 臨床指導体制（新人教育）

#### 目的

- 新人セラピスト（1～3 年目）の経験不足に配慮し、個別に指導を行うことにより、技術不足の格差を埋め、一定したサービスの提供を目指す。

#### 指導体制

- 経験年数 1～3 年目の各セラピストに対して、プリセプターを配置し、実際の治療場面での直接的な介入および訓練時間外でのアドバイスや相談などを行う。
- 直接的な介入においては、1 人のセラピストに対して月最大 8 単位を目安に行う。

## **5 . 重症患者への対応力強化**

佐藤香 P T、下村 P T を講師に招き、トランスファーの際の身体の使い方など実際の介助方法を学び、重症患者への対応力を強化する。

## **6 . 講習会への参加**

#### 目的

- (一社) 日本作業療法士協会と (一社) 奈良県作業療法士会の共催である生涯教育基礎研修を新人セラピストおよび未履修のセラピストが計画的に受講し、作業療法士として必要な知識を習得し、ベースアップを図る。

#### 対象

- 新人セラピストおよび現職者共通研修・選択研修を修了していないセラピスト。